

関東支部

小さなオリンピックを目指す触れ込みでしたが、オリビックを来年に控え関東地区では、競技施設は基より多くの民間の建築工事で建築ラッシュの状況です。関連企業は収益向上で潤っていますが、全体には行き渡らずの感じです。一方で、オリンピック景気が終わると急激な景気減退で不景気が待っているとの観測もあり、終わった後の施設の維持管理も景気を冷やさる要因とも言われています。

関東支部では、三十年度の関東支部総会・懇親会に百四十六名の回懸生・来賓の方々が集まり和やかに盛大に開催されました。

支部の活動で前年に引き続き皆さんに寄付のお願い

をしました。九十三名の方が総額六十四万円も寄付を賜りました。支部総会の案内を出すための回懸会名簿の整理が今まで出来ずにいましたので、今回千三百五十分の案内を郵送しました。住所変更等で返却されたのが百三十六通、欠席の返事があったのが三百八十一通が、百三十六通、欠席の返事が百三十六通、欠席の返事が音信無しが八百五十七通もありました。今後の課題として音信無しの回懸生に興味を持つ賣う方が大きな課題と考えています。本期も残りの名簿で千九百二十四通の案内を郵送しました。今のところ住所変更等で返却分が百十四通あります。

支部活動の一つである波谷のオハラ祭り、従前は、支部の応援を入れて運を形

効に案内を郵送出来る事と思っています。

支部活動は、青年部・婦人部を創設して平成の卒業生が回懸会に興味を持つ様な活動を始めています。新卒の皆さんに住所の連絡をお願いしていますが毎年返事があるのが数名の状況でなかなか確認が出来ていません。

今回、平成二十五年以後の卒業生の皆さんにショートメールで支部の活動を伝える運動を始めています。SMSで返事が貰える事とSMSで返事が貰える事と一人でも多くの平成世代が参加して新陳代謝が図ればと思います。近く結果が出で来ると期待しています。

最後に、部活の皆さん今年は、ソフトボーラー部と柔道部が試合で上京されました。来期も多くの部活の徒の皆さんに上京されることが願っています。

成していましたが、今年は本部から三名の参加者と平成の卒業生の皆さんが多く参加した事で活気がある二十六名の一連が作られました。これからも若い多くの人々の参加で盛り上がりがあればと思っています。

今年の支部総会も高齢化と五十年代六十年代の不参加が多く運営も大変ですが青年部の皆さんも積極的に若年層への参加のアプローチをして一人でも多くの回懸生が出席される事に努力をしています。昨年以上の出席者で総会が盛り上がればと願っています。

最後に、部活の皆さん今年は、ソフトボーラー部と柔道部が試合で上京されました。来期も多くの部活の徒の皆さんに上京されることが願っています。